

受付番号 第 号
2014年3月25日
時 分

山県市議会議長 様

山県市議会議員
寺町知正 印

一般質問通告書

下記のとおり質問したいので、通告します

質問番号3番 答弁者 市長

質問事項 市役所横の大規模な安売り店計画の状況

《質問要旨》

イオンビッグ株式会社は、ディスカウント事業を展開・運営している企業である。ここが、市役所の道路東北側に安売り店を開く準備を進めている。用地は、3万4千㎡とかなり広い。市民の利便が増すのは良いことだ。

1. この事業者の県内での営業状況、店舗の営業方針、評判はどのようなか。

次は、今回の計画について問う。

2. 敷地の施設面積や規模、駐車場の面積や台数、集客見込み数、年商はどのようなか。

雇用者の方向性や予定、見込はどのようなか。

市内の同種の業界への影響をどのように評価しているのか。

手続きや協議の現状と今後の予定、着工と開店の想定はどのようなか。

市の税収の増加の見込み額、展望はどのようなか。

3. 企業誘致一般にいえることだが、事業者は経費節減のため行政に各種の便宜供与を期待する。

「道路整備」などの便宜は、行政が通常以上に負担することを受け入れるべきではない私は考えるが市はどう考えているか。

私は、市が、「各種手続きや協議」がスムーズにいくように協力し、この面でできることは便宜を図るべきだと考えるが、市はどう考え、どのように対応するのか。

4. 2011年8月19日付のイオン株式会社による「『イオンビッグ株式会社』設立のお知らせ」には次が読み取れる。「消費者のデフレ嗜好などを踏まえディスカウント事業をイオングループの成長戦略の柱の一つと位置づけることになり、新たに独立」（ウィキペディア）というものだ。

ところで、政府の日本経済のインフレ誘導が進みつつある中、「消費者のデフレ嗜好」を柱の一つとする方針の事業者の今回の出店に関して、市としては店舗営業・業績の将来の予測をどのように持つのか。

以上